

食 料 需 給 表

平 成 21 年 度

平 成 22 年 8 月

農 林 水 産 省 大 臣 官 房 食 料 安 全 保 障 課

推計方法の一般原則

1. 本表は、原則としてF A Oの食料需給表作成の手引に準拠して作成している。
2. 計測期間は断らない限り当年4月1日から翌年3月31日までの1年間である。
3. 表頭でいう国内生産量から純食料までの数値は、外国貿易及び歩留りを除いて、断らない限り農林水産省の調査値又は推計値である。
4. 昭和46年度以前は、沖縄県を含まない。
5. 最新年の数値には一部暫定値がある。したがって、これらを含む合計値も暫定値である。
6. 国内生産量から純食料までの欄については、「事実のないもの」及び「事実不詳」はすべて「0」と表示している。
7. 国内生産量には輸入した原材料により国内で生産された製品を含んでいる。例えば、原料大豆を輸入して国内で搾油された大豆油は、油脂類の「大豆油」の国内生産量として計上している。ただし、「大豆油」そのものの輸入は「大豆油」の輸入として計上している。
8. 外国貿易は、原則として本表に採用した品目について、本表の計上単位以上の実績があるものを財務省「貿易統計」により計上した。ただし、いわゆる加工食品（例：果実、魚介類の缶詰等）は、生鮮換算して計上している（なお、全く国内に流通しないもの（例：当初から輸出を目的とする加工貿易品の原料）や、全く食料になり得ないもの（例：観賞用の魚、動物の腱、筋等）は、本表には計上していない）。

なお、昭和63年1月1日より貿易統計の品目分類が変更されたことに伴い、一部の品目については、昭和62～63年度間の貿易量は接続しないので、利用に当たっては注意されたい。
9. 在庫の増減量は、当年度末繰越量と当年度始め持越量との差である。したがって、その増加量（+）は国内消費仕向量を算出する際には減算され、減少量（△）は加算されることとなる。
10. 国内消費仕向量は、国内生産量+輸入量-輸出量-在庫の増加量（又は+在庫の減少量）によって算出される。
11. 飼料用には、計測期間中に動物の飼料、魚類の餌料及び肥料に向けられた数量を計上している。
12. 種子用には、計測期間中に、は種又はふ化の目的に使われた数量を計上している。

13. 一般的に加工向けとは、大別して次の三通りの場合が考えられる。

- (1) 食用以外の目的に利用される製品の加工原料として使われる場合（例：石けんの原料として使われる植物油等）
- (2) 相当量の栄養分ロスを生じて他の食品を生産するために使われる場合（例：大豆油をとるために使われる大豆等）
- (3) 栄養分の全くのロスなしで、又はわずかのロスで他の食品に形を変える場合（例：果実缶詰、果実ジュースの製造に使われる果実等）

本表の「加工用」とは、(1)の場合、及び(2)のうち「他の食品」が本表の品目に該当する場合である（本表の品目のうち、この「他の食品」に該当するのはでんぷん、野菜（もやし）、砂糖類（精糖、含みつ糖、糖みつ）、油脂類（大豆油、植物油脂のその他）、みそ、しょうゆ、その他食料（脱脂大豆）及び酒類である。）。

14. 減耗量は、食料が生産された農場等の段階から、輸送、貯蔵等を経て家庭の台所等に届く段階までに失われるすべての数量が含まれる。なお、家庭や食品産業での調理、加工段階における食料の廃棄や食べ残し、愛がん用動物への仕向量などは含まれない。

15. 粗食料の数量は、国内消費仕向量－（飼料用＋種子用＋加工用＋減耗量）であり、粗食料の1人・1年当たり数量は、粗食料を年度中央（10月1日現在）における我が国の総人口で除して得た国民1人当たり平均供給数量（1人・1日当たりの粗食料は1人・1年当たりの数量を当該年度の日数で除して表す。）である。この算出に用いた我が国の総人口は、国勢調査結果又は総務省統計局の推計値である。

16. 歩留りは、粗食料を純食料（可食の形態）に換算する際の割合であり、当該品目の全体から通常の食習慣において廃棄される部分（例：キャベツであればしん、かつおであれば頭部、内蔵、骨、ひれ等）を除いた可食部の当該品目の全体に対する重量の割合として求めている。この算出に用いた割合は、原則として科学技術庁刊行「五訂日本食品標準成分表」による。

なお、昭和39年度以前は「三訂日本食品標準成分表」、昭和40～59年度は「四訂日本食品標準成分表」により算出しており、昭和39～40年度間及び昭和59～60年度間は接続しないので、利用に当たっては注意されたい。

17. 純食料は、粗食料に歩留りを乗じたものであり、人間の消費に直接利用可能な食料の形態の数量を表している。

18. 1人当たり供給数量は、純食料を我が国の総人口で除して得た国民1人当たり平均供給数量であり、1人・1年当たり数量（キログラム）と1人・1日当たり数量（グラム）で示している。

19. 1人・1日当たり供給栄養量は、1人・1日当たり供給数量に当該品目の単位当たり栄養成分量（熱量、たんぱく質、脂質）を乗じて算出している。この算出に用いた栄養成分量は、原則として「五訂日本食品標準成分表」による。
なお、昭和39年度以前は「三訂日本食品標準成分表」、昭和40～59年度は「四訂日本食品標準成分表」により算出しており、昭和39～40年度間及び昭和59～60年度間は接続しないので、利用に当たっては注意されたい。
20. 穀類及び米の「国内生産量」及び「在庫の増減量」欄の下段の数値は、集荷円滑化対策に伴う区分出荷数量であり、また、「国内消費仕向量」及び「飼料用」欄の下段の数値は、過剰米処理に伴う飼料用の政府売却数量であり、それぞれ外数である。
21. 米の純食料以下の（ ）内の数値は、菓子及び穀粉を含まない主食用の数値である。
22. 牛乳及び乳製品のア～キについては製品で計上しており、乳製品向け生乳の製品内訳である。
したがって、乳製品の合計と乳製品向け生乳は一致しない。
また、「輸入量」、「国内消費仕向量」及び「飼料用」の（ ）内の数値は、輸入飼料用乳製品（脱脂粉乳及びホエイパウダー）で外数である。
23. しょうゆの計測単位は、「k1」、「1」及び「cc」である。
24. 本表により算出された食料の供給数量及び栄養量は、消費者等に到達した食料のそれであって、国民によって実際に摂取された食料の数量及び栄養量ではないことに留意されたい。

○ 国民1人・1年当たり供給純食料及び国内生産量の前年度比較

類別・品目別	1人・1年当たり供給純食料(kg)				国内生産量(千トン)			
	20年度	21年度	増減量	増減率	20年度	21年度	増減量	増減率
穀類	91.5	91.6	0.1	0.1%	9,949	9,345	▲ 604	▲ 6.1%
米	59.0	58.5	▲ 0.5	▲ 0.9%	8,823	8,474	▲ 349	▲ 4.0%
小麦	31.1	31.8	0.7	2.3%	881	674	▲ 207	▲ 23.5%
いも類	19.5	18.4	▲ 1.1	▲ 5.5%	3,751	3,467	▲ 284	▲ 7.6%
かんしょ	4.2	4.4	0.2	4.6%	1,011	1,026	15	1.5%
ばれいしょ	15.3	14.0	▲ 1.3	▲ 8.3%	2,740	2,441	▲ 299	▲ 10.9%
でんぷん	16.9	16.4	▲ 0.5	▲ 3.1%	2,641	2,516	▲ 125	▲ 4.7%
豆類	8.8	8.6	▲ 0.2	▲ 2.8%	376	320	▲ 56	▲ 14.9%
大豆	6.7	6.5	▲ 0.2	▲ 4.3%	262	230	▲ 32	▲ 12.2%
野菜	93.6	91.7	▲ 1.9	▲ 2.1%	12,554	12,491	▲ 63	▲ 0.5%
果実	40.1	39.3	▲ 0.8	▲ 2.1%	3,436	3,379	▲ 57	▲ 1.7%
みかん	4.6	5.0	0.4	9.1%	906	1,003	97	10.7%
りんご	10.2	8.7	▲ 1.5	▲ 14.3%	911	846	▲ 65	▲ 7.1%
肉類	28.6	28.6	0.0	0.3%	3,184	3,257	73	2.3%
牛肉	5.7	5.9	0.2	2.8%	518	516	▲ 2	▲ 0.4%
豚肉	11.7	11.5	▲ 0.2	▲ 2.0%	1,260	1,318	58	4.6%
鶏肉	10.8	11.0	0.2	1.7%	1,395	1,413	18	1.3%
鶏卵	16.8	16.5	▲ 0.3	▲ 1.4%	2,535	2,505	▲ 30	▲ 1.2%
牛乳・乳製品	86.3	84.8	▲ 1.5	▲ 1.7%	7,946	7,881	▲ 65	▲ 0.8%
魚介類	31.5	30.0	▲ 1.5	▲ 4.6%	5,031	4,868	▲ 163	▲ 3.2%
海藻類	1.0	1.0	0.0	▲ 0.6%	112	112	0	0.0%
砂糖類	19.2	19.3	0.1	0.6%	2,158	2,118	▲ 40	▲ 1.9%
油脂類	13.8	13.1	▲ 0.7	▲ 5.3%	2,028	1,931	▲ 97	▲ 4.8%
植物油脂	13.0	12.3	▲ 0.7	▲ 5.4%	1,704	1,599	▲ 105	▲ 6.2%
動物油脂	0.8	0.8	0.0	▲ 3.6%	324	332	8	2.5%
みそ	3.6	3.5	▲ 0.1	▲ 2.4%	462	454	▲ 8	▲ 1.7%
しょうゆ	6.7	6.6	▲ 0.1	▲ 1.5%	876	864	▲ 12	▲ 1.4%
その他食料	4.4	4.6	0.2	4.1%	2,589	2,341	▲ 248	▲ 9.6%
きのこ類	3.3	3.4	0.1	0.8%	447	456	9	2.0%

(注) 1. 米の在庫取崩し分を含んだ国産米供給量は、20年度8,457千トン(うち在庫取崩し量▲366千トン)、21年度8,326千トン(同▲148千トン)。

2. 「砂糖類」の国内生産量は、「精糖」及び「含みつ糖」の合計。

○ 国民1人・1日当たり供給熱量・栄養素の前年度比較

類別・品目別	供給熱量(kcal)				たんぱく質(g)				脂質(g)			
	20年度	21年度	増減量	増減率	20年度	21年度	増減量	増減率	20年度	21年度	増減量	増減率
穀類	902.7	903.9	1.2	0.1%	19.6	19.7	0.1	0.6%	3.4	3.4	0.0	0.7%
米	575.6	570.5	-5.1	-0.9%	9.9	9.8	-0.1	-0.9%	1.5	1.4	-0.1	-0.9%
小麦	313.7	321.0	7.3	2.3%	9.4	9.6	0.2	2.3%	1.8	1.8	0.0	2.3%
いも類	47.1	45.1	-2.0	-4.1%	0.8	0.8	0.0	-6.1%	0.1	0.1	0.0	-3.7%
かんしょ	15.3	16.0	0.7	4.6%	0.1	0.1	0.0	4.6%	0.0	0.0	0.0	4.6%
ばれいしょ	31.8	29.2	-2.6	-8.3%	0.7	0.6	-0.1	-8.3%	0.0	0.0	0.0	-8.3%
でんぷん	162.5	157.4	-5.1	-3.1%	0.0	0.0	0.0	-3.1%	0.3	0.3	0.0	-3.1%
豆類	102.0	99.7	-2.3	-2.3%	7.5	7.2	-0.3	-3.0%	4.7	4.7	0.0	-1.1%
大豆	78.8	75.5	-3.3	-4.3%	6.2	5.9	-0.3	-4.3%	3.8	3.6	-0.2	-4.3%
野菜	74.9	72.9	-2.0	-2.7%	3.1	3.1	0.0	-1.7%	0.5	0.5	0.0	-1.6%
果実	65.8	65.8	0.0	-0.1%	0.8	0.8	0.0	1.7%	0.8	0.9	0.1	7.2%
みかん	5.5	6.0	0.5	9.1%	0.1	0.1	0.0	9.1%	0.0	0.0	0.0	9.1%
りんご	15.1	12.9	-2.2	-14.3%	0.1	0.0	-0.1	-14.3%	0.0	0.0	0.0	-14.3%
肉類	167.1	167.7	0.6	0.3%	14.3	14.4	0.1	0.3%	11.3	11.3	0.0	0.3%
牛肉	44.0	45.3	1.3	2.9%	2.6	2.7	0.1	2.8%	3.5	3.6	0.1	2.8%
豚肉	73.5	72.0	-1.5	-2.0%	5.8	5.7	-0.1	-2.0%	5.2	5.1	-0.1	-2.0%
鶏肉	48.3	49.1	0.8	1.7%	5.7	5.8	0.1	1.7%	2.6	2.6	0.0	1.7%
鶏卵	69.4	68.4	-1.0	-1.4%	5.7	5.6	-0.1	-1.4%	4.7	4.7	0.0	-1.4%
牛乳・乳製品	151.3	148.8	-2.5	-1.7%	7.6	7.4	-0.2	-1.7%	8.3	8.1	-0.2	-1.7%
魚介類	127.8	120.6	-7.2	-5.6%	16.4	15.6	-0.8	-4.6%	6.0	5.7	-0.3	-6.0%
海藻類	4.5	4.5	0.0	-0.9%	0.8	0.8	0.0	-0.6%	0.1	0.1	0.0	-0.6%
砂糖類	201.9	203.0	1.1	0.6%	0.0	0.0	0.0	-5.4%	0.0	0.0	0.0	0.0%
油脂類	349.8	331.3	-18.5	-5.3%	0.0	0.0	0.0	-8.2%	37.9	35.9	-2.0	-5.3%
植物油脂	328.0	310.3	-17.7	-5.4%	0.0	0.0	0.0	0.0%	35.6	33.7	-1.9	-5.4%
動物油脂	21.8	21.0	-0.8	-3.6%	0.0	0.0	0.0	-8.2%	2.3	2.2	-0.1	-3.6%
みそ	19.1	18.6	-0.5	-2.4%	1.2	1.2	0.0	-2.4%	0.6	0.6	0.0	-2.4%
しょうゆ	13.1	12.9	-0.2	-1.5%	1.4	1.4	0.0	-1.5%	0.0	0.0	0.0	0.0%
その他食料	12.7	15.0	2.3	18.1%	0.9	0.9	0.0	5.9%	0.5	0.7	0.2	44.8%
きのこ類	1.7	1.8	0.1	1.3%	0.3	0.3	0.0	0.7%	0.0	0.0	0.0	-0.1%
合計	2471.8	2435.6	-36.2	-1.5%	80.2	79.0	-1.2	-1.4%	79.3	76.9	-2.4	-2.9%

(参考3)

○ 国民1人・1年当たり供給純食料の推移

(単位：kg)

年度	穀類		いも類	でんぷん	豆類	野菜	果実	肉類	鶏卵	牛乳・乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類	
	うち米	うち小麦												
昭和 40	145.0	111.7	29.0	21.3	8.3	9.5	108.1	28.5	9.2	11.3	37.5	28.1	18.7	6.3
50	121.5	88.0	31.5	16.0	7.5	9.4	110.7	42.5	17.9	13.7	53.6	34.9	25.1	10.9
60	107.9	74.6	31.7	18.6	14.1	9.0	111.7	38.2	22.9	14.5	70.6	35.3	22.0	14.0
平成 7	102.0	67.8	32.8	20.7	15.6	8.8	106.1	42.2	28.5	17.2	91.2	39.3	21.2	14.6
12	98.5	64.6	32.6	21.1	17.4	9.0	102.4	41.5	28.8	17.0	94.2	37.2	20.2	15.1
13	97.1	63.6	32.1	20.1	17.3	9.2	101.6	44.3	27.8	16.8	93.0	40.2	20.0	15.1
14	96.0	62.7	31.9	19.9	17.2	9.3	97.4	42.0	28.4	16.8	92.9	37.6	20.0	15.0
15	96.0	61.9	32.6	19.5	17.5	9.4	95.9	39.8	28.2	16.7	93.0	35.7	20.0	15.0
16	95.2	61.5	32.3	19.9	17.5	9.3	93.8	41.5	27.8	16.5	93.9	34.6	19.9	14.4
17	94.6	61.4	31.7	19.9	17.6	9.3	96.3	43.1	28.5	16.5	92.0	34.4	19.9	14.6
18	94.2	61.0	31.8	19.5	17.6	9.2	94.9	40.0	28.1	16.7	92.2	32.8	19.5	14.5
19	95.0	61.4	32.3	20.3	17.5	9.2	94.5	41.2	28.2	17.1	93.3	32.0	19.8	14.4
20	91.5	59.0	31.1	19.5	16.9	8.8	93.6	40.1	28.6	16.8	86.3	31.5	19.2	13.8
21 (概算)	91.6	58.5	31.8	18.4	16.4	8.6	91.7	39.3	28.6	16.5	84.8	30.0	19.3	13.1

○ 国民1人・1日当たり供給熱量及びPFC熱量比率の推移

年度	熱量 (kcal)	たんぱく質			脂質		糖質 (炭水化物)
		(g)	(g)		(g)	比率 (%)	比率 (%)
			うち動物性	比率 (%)			
昭和 40	2,458.7	75.0	25.9	12.2	44.3	16.2	71.6
50	2,518.3	80.3	35.0	12.7	63.9	22.8	64.5
60	2,596.5	82.1	41.2	12.7	75.4	26.1	61.2
平成 7	2,653.8	87.9	48.3	13.3	82.7	28.0	58.7
12	2,642.9	86.8	47.8	13.1	84.2	28.7	58.2
13	2,631.1	87.8	49.0	13.4	84.4	28.9	57.7
14	2,600.3	86.1	47.7	13.2	83.6	28.9	57.9
15	2,587.7	84.5	46.3	13.1	83.6	29.1	57.8
16	2,564.0	83.9	45.8	13.1	81.6	28.6	58.3
17	2,572.8	84.0	46.2	13.1	82.8	28.9	58.0
18	2,550.5	82.6	45.1	13.0	82.4	29.1	57.9
19	2,550.8	82.3	44.8	12.9	81.7	28.8	58.3
20	2,471.8	80.2	43.9	13.0	79.3	28.9	58.1
21 (概算)	2,435.6	79.0	43.0	13.0	76.9	28.4	58.6

○ 食料自給率の推移

(単位：%)

		昭 和	50	60	平 成	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		40年度			7年度										(概算)
品 目 別 自 給 率	米	95	110	107	104	95	95	96	95	95	95	94	94	95	95
	うち主食用					100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	小麦	28	4	14	7	11	11	13	14	14	14	13	14	14	14
	大麦・はだか麦	73	10	15	8	8	8	9	9	9	8	8	9	11	8
	いも類	100	99	96	87	83	84	84	83	83	81	80	81	81	78
	かんしょ	100	100	100	100	99	98	96	94	94	94	93	92	94	96
	ばれいしょ	100	99	95	83	78	80	81	80	80	80	77	76	77	76
	豆類	25	9	8	5	7	7	7	6	6	6	7	7	7	9
	大豆	11	4	5	2	5	5	5	4	3	3	5	5	5	6
	野菜	100	99	95	85	81	81	83	82	80	80	79	79	81	82
	果実	90	84	77	49	44	45	44	44	40	41	41	38	40	41
	みかん	109	102	106	102	94	96	98	104	99	103	103	94	99	99
	りんご	102	100	97	62	59	58	63	62	53	52	52	52	49	54
	肉類(鯨肉を除く)	90 (42)	77 (16)	81 (13)	57 (8)	52 (7)	53 (7)	53 (7)	54 (7)	55 (8)	54 (8)	56 (7)	56 (8)	56 (8)	56 (8)
	牛肉	95 (84)	81 (43)	72 (28)	39 (11)	34 (9)	36 (10)	39 (10)	39 (10)	44 (12)	43 (12)	43 (11)	43 (12)	44 (12)	44 (11)
	豚肉	100 (31)	86 (12)	86 (9)	62 (7)	57 (6)	55 (6)	53 (5)	53 (5)	51 (6)	50 (6)	52 (8)	52 (7)	52 (7)	52 (8)
	鶏肉	97 (30)	97 (13)	92 (10)	69 (7)	64 (7)	64 (6)	65 (6)	67 (6)	69 (8)	67 (8)	69 (7)	69 (7)	70 (7)	70 (8)
	鶏卵	100 (31)	97 (13)	98 (10)	96 (10)	95 (11)	96 (10)	96 (9)	96 (9)	95 (11)	94 (11)	95 (10)	95 (10)	96 (10)	96 (10)
	牛乳・乳製品	86 (63)	81 (44)	85 (43)	72 (32)	68 (30)	68 (30)	69 (30)	69 (29)	67 (28)	68 (29)	67 (27)	66 (27)	70 (27)	71 (30)
	魚介類	100	99	93	57	53	48	47	50	49	51	52	53	53	53
	うち食用	110	100	86	59	53	53	53	57	55	57	60	62	62	62
海藻類	88	86	74	68	63	62	66	66	65	65	67	71	71	72	
砂糖類	31	15	33	31	29	32	34	35	34	34	32	33	38	33	
油脂類	31	23	32	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	14	
きのこ類	115	110	102	78	74	75	77	77	78	79	81	83	86	87	
飼料用を含む穀物全体の自給率		62	40	31	30	28	28	28	27	28	28	27	28	28	26
主食用穀物自給率		80	69	69	65	60	60	61	60	60	61	60	60	61	58
供給熱量ベースの総合食料自給率		73	54	53	43	40	40	40	40	40	40	39	40	41	40
生産額ベースの総合食料自給率		86	83	82	74	71	70	69	70	69	69	68	66	65	70
飼料自給率		55	34	27	26	26	25	25	23	25	25	25	25	26	25

(注1) 米については、国内生産と国産米在庫の取崩しで国内需要に対応している実態を踏まえ、平成10年度から国内生産量に国産米在庫取崩し量を加えた数量を用いて、次式により品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率を算出している。

自給率＝国産供給量(国内生産量＋国産米在庫取崩し量)／国内消費仕向量×100(重量ベース)

なお、国産米在庫取崩し量は、12年度が24千トン、13年度が262千トン、14年度が243千トン、15年度が1,147千トン、16年度が374千トン、17年度が3千トン、18年度が178千トン、19年度が13千トン、20年度が▲366千トン、21年度が▲148千トンである。

また、飼料用の政府売却がある場合は、国産供給量及び国内消費仕向量から飼料用政府売却数量を除いて算出している。

(注2) 品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率の算出は次式による。

自給率＝国内生産量／国内消費仕向量×100(重量ベース)

(注3) 供給熱量総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物については、飼料自給率を考慮して算出している。

自給率＝国産供給熱量／国内総供給熱量×100(熱量ベース)

(注4) 生産額ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工食品については、輸入飼料及び輸入食品原料の額を国内生産額から控除して算出している。

自給率＝食料の国内生産額／食料の国内消費仕向額×100(生産額ベース)

(注5) 飼料自給率については、TDN(可消化養分総量)に換算した数量を用いて算出している。

(注6) 肉類(鯨肉を除く)、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳・乳製品の()については、飼料自給率を考慮した値である。

○ 飼料需給表

(単位：TDN千トン、%)

	需 要 量	供 給 量				自 給 率		
		粗 飼 料		濃 厚 飼 料		純国内産 飼料自給率	純国内産 粗飼料 自給率	純国内産 濃厚飼料 自給率
		うち 国内供給		うち純国 内産原料				
A	B	C	D	E				
昭和40	13,359	4,519	4,519	8,840	2,771	55	100	31
50	19,867	4,793	4,793	15,074	2,060	34	100	14
60	27,596	5,708	5,278	21,888	2,310	27	92	11
平成7	27,098	5,912	4,733	21,186	2,239	26	80	11
12	25,481	5,756	4,491	19,725	2,179	26	78	11
13	25,373	5,573	4,350	19,800	1,995	25	78	10
14	25,713	5,663	4,394	20,050	1,948	25	78	10
15	25,491	5,387	4,073	20,104	1,897	23	76	9
16	25,107	5,565	4,194	19,542	2,182	25	75	11
17	25,164	5,485	4,197	19,678	2,214	25	77	11
18	25,249	5,500	4,229	19,749	1,967	25	77	10
19	25,316	5,546	4,305	19,770	2,120	25	78	11
20	24,930	5,536	4,356	19,393	2,090	26	79	11
21 (概算)	25,138	5,409	4,205	19,730	2,122	25	78	11

(資料) 生産局畜産部畜産振興課

(注1) TDN (可消化養分総量) とは、エネルギー含量を示す単位であり、飼料の実量とは異なる。

(注2) 濃厚飼料の「うち純国内産原料」とは、国内産に由来する濃厚飼料 (国内産飼料用小麦・大麦等) であり、輸入食料原料から発生した副産物 (輸入大豆から搾油した後発生する大豆油かす等) を除いたものである。

(注3) 昭和59年度までの輸入は、すべて濃厚飼料とみなしている。